

予算特別委員会記録

1. 日時 令和2年6月4日(木)
午後3時00分 開会
午後3時24分 閉会
2. 場所 白鷹町役場 議場
3. 議題 議第55号 令和2年度白鷹町一般会計補正予算(第3号)について
議第56号 令和2年度白鷹町立病院事業会計補正予算(第1号)について

○出席委員(10名)

- | | | | | | |
|-----|-------|----|-----|-------|----|
| 2番 | 金田 悟 | 委員 | 3番 | 横山 和浩 | 委員 |
| 4番 | 竹田 雅彦 | 委員 | 5番 | 丸川 雅春 | 委員 |
| 6番 | 笹原 俊一 | 委員 | 7番 | 小口 尚司 | 委員 |
| 8番 | 奥山 勝吉 | 委員 | 9番 | 山田 仁 | 委員 |
| 11番 | 関 千鶴子 | 委員 | 12番 | 遠藤 幸一 | 委員 |

○欠席委員(1名)

- 10番 菅原 隆男 委員

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

- | | |
|--------------------|-------|
| 町 長 | 佐藤 誠七 |
| 副町長 | 横澤 浩 |
| 教育長 | 沼澤 政幸 |
| 総務課長 | 樋口 浩 |
| 税務出納課長 | 高橋 浩之 |
| 企画政策課長 | 菅間 直浩 |
| 町民課長 | 衣袋 則子 |
| 健康福祉課長 | 長岡 聡 |
| 商工観光課長 | 齋藤 重雄 |
| 農林課長併
農業委員会事務局長 | 大木 健一 |
| 建設水道課長 | 鈴木 克仁 |

病院事務局長	渡	部	町	子
教育次長	田	宮		修
課長補佐	加	藤	和	芳
課長補佐	黒	澤	和	幸

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	佐	藤	雅	志
係長	芳	賀	和	則
書記	菅	原	美	樹

開 会

〈午後3時00分〉

○開会の宣告

○委員長（奥山勝吉） ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は10名であります。

菅原委員より欠席の通告があります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第4回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和2年度白鷹町一般会計補正予算（第3号）外1件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計から順に令和2年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（奥山勝吉） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

○議第55号の説明、質疑

○委員長（奥山勝吉） それでは、議第55号 令和2年度白鷹町一般会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

初めに、補正予算の概要について説明を求めます。樋口総務課長。

○総務課長（樋口 浩） それでは、説明を申し上げます。

概要書の2ページをごらんいただきたいと思います。

初めに、概要でございます。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等新型コロナウイルス対策に関連する緊急性の高い事業とともに、企業立地促進事業などの地域経済活動支援や棚田地域振興緊急対策事業等農業関連の補助事業への対応を行いました。

初めに、歳入でございます。

款、補正額、主なものについて説明を申し上げます。

14款国庫支出金、1億2,323万6,000円。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億137万5,000円、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援する事業に対するの交付金でございます。地域介護・福祉空間整備事業等施設整備交付金1,540万円。子ども・子育て支援事業費補助金30万5,000円、関連するシステム改修に対するの補助金でございます。中山間所得向上支援事業交付金614万5,000円、有害鳥獣対策事業等に対するの交付金などでございます。

15款県支出金、28万2,000円。臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業費補助

金6万8,000円、中山間地農業ルネッサンス事業300万円の減額、イノシシ等鳥獣被害緊急対策事業費補助金10万2,000円、棚田地域振興緊急対策事業250万円、災害・経営安定対策資金利子補給19万9,000円、伐採・造林事業者連携支援事業費補助金7万3,000円、商店街販売促進緊急支援事業費補助金10万円などがございます。

18款繰入金、200万円。福祉振興基金繰入金でございます。すくすく「白鷹っ子」子育て応援事業への対応でございます。

19款繰越金、348万3,000円。

20款諸収入、75万7,000円。コミュニティ助成事業250万円、道路整備等移転補償金174万3,000円の減額。

歳入合計、1億2,975万8,000円であります。

3ページをご覧ください。

歳出。

2款総務費、947万3,000円。人件費（時間外手当）コロナ対応ということで350万円。コミュニティ助成事業250万円、鷹山地区自治振興会が行うコミュニティー活動用備品の整備に要する経費に充当するためのものがございます。地区コミュニティセンター費（分館施設整備費補助金）228万6,000円、申請の増加見込みに基づく追加計上でなどで、そのほかになっております。

3款民生費、2,093万1,000円。臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業9万4,000円、学校の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用者負担を免除するための対応でございます。地域介護・福祉空間整備事業1,540万円、地域密着型介護老人福祉施設マイスカイ中山が行う非常用自家発電設備の設置事業に係る費用の支援を行うための対応でございます。健康福祉センター費277万2,000円、健康福祉センター非常用電源太陽光設備の修繕への対応でございます。児童措置費ひとり親家庭生活応援等給付金48万円、ひとり親家庭に対して通勤応援給付金を支給するための対応でございます。すくすく「白鷹っ子」子育て応援事業200万円、故小形よね氏の寄附金による保育施設へのソフト事業充実の対応でございます。

4款衛生費、32万2,000円。未熟児養育医療給付事業（過年度償還金）31万2,000円でございます。

6款農林水産業費、521万8,000円。災害・経営安定対策資金利子補給費（感染症対応分）30万円、県の災害・経営安定対策資金制度貸付金への利子補給でございます。棚田地域振興緊急対策事業252万円、指定棚田地域振興計画策定のための対応でございます。森林・林業再生事業174万7,000円の減額、地域林政アドバイザー報酬等の減額、森林経営計画作成等支援補助金の増額に対応するものがございます。有害鳥獣対策事業費114万5,000円、鳥獣による農作物被害防止を目的とした電気柵の設置を行う農業者に対して補助をするための対応でございます。森林環境保全整備事業300万円、県代行林道白

鷹東部線開設に係る立ち木伐採についての対応でございます。

7款商工費、3,730万円。公園管理事業110万円、ふるさと森林公園における施設調査業務を委託するための対応でございます。商店街販売促進緊急支援事業20万円、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として白鷹町商工会が行う商店の販売促進への補助を行うための対応でございます。企業立地促進事業3,600万円、追加計上でございます。

8款土木費、90万円。河川水路維持事業費、水道補修工事の追加計上でございます。

9款消防費、2,310万円。災害対策費（感染症対応分）といたしまして450万円、感染拡大防止に必要な物品を購入するための対応でございます。事業継続確保施設整備事業1,860万円、感染症対策や自然災害時に継続的に行政機能を確保するため、旧医師住宅を取得し改修するための対応でございます。

10款教育費、1,183万4,000円。荒砥高等学校活性化事業10万円、地域連携協議会の活動補助への対応でございます。事務局費（感染症対応分）870万円、感染拡大防止に必要な物品の購入の費用でございます。緊急教育支援事業（感染症対応分）100万円、給食費保護者負担への追加でございます。

次のページをお願いいたします。

図書館費（感染症対応分）100万円、一般図書及び児童書購入への対応でございます。文化財保護調査事業費48万9,000円、郷土資料館消耗品及び展示解説作成業務等への対応でございます。

11款災害復旧費、68万円。急傾斜地崩壊対策事業費68万円、負担金の調整でございます。

14款予備費、2,000万円。予備費（感染症対応分）の追加でございます。

歳出合計1億2,975万8,000円。

以上でございます。

○委員長（奥山勝吉） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

質問される方、答弁なさる方は、それぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。また、質問される方はページを示してください。

2番、金田委員。

○2番（金田 悟） 概要書の3ページでありますけれども、人件費の350万円という計上になってはいますが、今回のコロナ対策の関係で地方創生臨時交付金の交付に向けた様々な事務の作業、本当にご苦労さまでした。休日出勤とか時間外等々、様々あったのかなと想像されますが、まずは今回の緊急対策に関わっての特別定額給付金の給付をはじめとする対応に関わった関係する職員の数というか、見込みも含めて、担当課ごと大まかに分かればお知らせ願いたいと思います。

○委員長（奥山勝吉） 樋口総務課長。

○総務課長（樋口 浩） お答えいたします。

特別定額給付金の支給事務につきましては、総務課内に特別定額給付室を設置いたしまして対応したところでございます。6名の職員に兼務辞令を発令いたしまして対応に当たったところでございますが、申請書の封詰めなどの作業につきましては、短期間に大量な事務に当たりますので、これらにつきましては総務課、あるいは企画政策課を中心といたしまして協力をいただきまして対応したという状況でございます。あと、緊急経済対策関連につきましては、商工観光課で3名ほどでしょうか、あと農林課でも2名ほど対応しております。そのほか、感染症対策ということでは健康福祉課、病院、それから教育委員会の職員も対応しているということでございます。

○委員長（奥山勝吉） 2番、金田委員。

○2番（金田 悟） 今回の対策については、様々広範囲な部門になりますけれども、本来すべき業務があるわけですが、今回の緊急的な対策として取り組まれたことによりまして、本来すべき業務への影響と申しますか、そういうものがあつたのかどうか、お聞かせ願います。

○委員長（奥山勝吉） 樋口総務課長。

○総務課長（樋口 浩） お答えいたします。

今回の新型コロナウイルス感染症の関係につきましては、当初想定していない業務でございましたので、少なからずの影響はあるのかなとは思っておりますが、各所管で業務を調整いただきながら対応してきている状況でございます。

なお、それで間に合わない部分につきましては、時間外勤務を命令して対応してきたという状況でございます。

○委員長（奥山勝吉） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） このたびの新型コロナウイルス対応につきまして、チーム編成を新たにさせていただきまして頑張ってくださいました。職員の皆さんは、やはり町民の皆さんが主役であるということを忘れず、本当に迅速な対応をしていただき、先ほどもご報告申し上げましたけれども、もう既に94%を超える支給をやっているということでございます。職員の皆さんのこの一生懸命に頑張ってくださいましたことに本当に感謝申し上げたいと思っておりますし、まさしく私が心配したのは、窓口での混雑がどうなるのかと、非常に町民課の職員にも直ちにこのビニールといいますか、直接会話の中で飛沫がないように対応させていただいたのですが、余り混乱もなく、余りということはゼロではなかったということだと思います。いろいろ質問も来たと聞いております。特に、この新しい庁舎の中で新たな場所でセッティングし、その新たな場所も結構大きい部屋でやらせていただいたものですから、本当に職員の皆さんに順調にさせていただいたと。

逆に、本来の仕事ということは本当にまだまだ現場に出て仕事をしてもらいたいがたくさんあるわけですが、このたびは出ることもできなかったということでありまし

て、これから職員は持ち場に帰っての仕事というものは、自粛が解除になっていますので、これからはいよいよ本番かなということで、本当に職員の皆さんの頑張りに期待をするとともに、今回まで頑張っていたことに感謝申し上げたいと思っているところでございます。

○委員長（奥山勝吉） 2番、金田委員。

○2番（金田 悟） 今、町長が言ったとおりに、本当に職員の方々は大変だったのだと思います。特に心配ということで、本当に短期集中的な作業でもありましたので、様々な分野にもわたっています。その関係で、担当者の負担というものは相当のものがあつたんだろうと思います。そういうことによって、現在、例えば体調不良とかそういう方がいれば心配だなと思っていますが、そういう状況がもし分かればお願いします。

○委員長（奥山勝吉） 樋口総務課長。

○総務課長（樋口 浩） お答えいたします。

現在のところ、このコロナに関しての体調不良ということでは入っておりませんが、結構長期間になりましたので疲れが出てくるものと思います。計画的な休みなども組みながら休養していただきたいなと思っていますところでは。

○委員長（奥山勝吉） 2番、金田委員。

○2番（金田 悟） 本当にこれからも暑くなってくるので、体調管理にも十分に目を配っていただきながら、本来業務に邁進してほしいなと思います。

続きまして、概要書の5ページであります。教育費の荒砥高等学校活性化事業10万円計上されておりますが、地域連携協議会の活動助成となっておりますが、これから荒砥高等学校の将来像を考える意味で重要な協議会になるのかなと思っています。その組織構成等々、分かればお聞かせ願いたいと思います。

○委員長（奥山勝吉） 田宮教育次長。

○教育次長（田宮 修） お答えいたします。

地域連携協議会活動補助金10万円を計上させていただいております。この協議会につきましては、荒砥高等学校が1学年1学級の小規模校になったということで、県の方針を受けまして、地元と高校が一体となって学校の魅力化、それから活性化策等を検討し、学校を核とした地域力強化を図るため組織するというので、入学者の確保や魅力向上に関する事業を実施するところとしております。

これから、正式な協議会の立ち上げとなりますけれども、構成につきましては、外部有識者、それから町の行政関係、あと学校関係ということで荒砥高校から、それから同窓会やPTA、また町内の中学校、あと産業関係や地区コミュニティー関係などから10名程度を想定してございます。また、協議会の下に行政担当や高校教職員などによります実務者会議を設置して具体的な取組を行っていきたいと考えておるものです。

以上です。

○委員長（奥山勝吉） 2番、金田委員。

○2番（金田 悟） これからということでありましたので、今後の活動等についても、その協議会で具体的にされると思いますので、この事業につきましても本当に荒砥高等学校の存続を含めた地域の活性化を含めた大事なことでありますので、その辺の活動もよろしくお願ひしたいと思ひます。

続いて、同じく概要書の5ページでございます。事務局費とありまして、感染症対応分870万円計上されております。この感染防止に必要な物品がありますけれども、どのようなものが具体的にあるのかお知らせ願ひます。

○委員長（奥山勝吉） 田宮教育次長。

○教育次長（田宮 修） お答えいたします。

コロナウイルス対策といたしまして、複数人の体表面温度を測るためのサーマルカメラ、それから教室換気用としてサーキュレーター、それから手をかざすと自動で消毒液が出るアルコールディスペンサーといったものを各小中学校に配置したいと考えております。

以上です。

○委員長（奥山勝吉） 2番、金田委員。

○2番（金田 悟） 2目の事務局費ということで計上しているわけでありましてけれども、事務局費という部分と今の物品という分の何か結びつきがないなと思ったものですから、事務局費で計上する理由があると思ひますので、そこをお聞かせ願ひます。

○委員長（奥山勝吉） 田宮教育次長。

○教育次長（田宮 修） お答えいたします。

今回購入予定の物品等につきましては、小中学校にそれぞれ配置したいと考えておりますが、発注や契約など、事務手続をスムーズにするために事務局費ということで執行したいと考えておるものでございます。また、小学校と中学校で必要な物品に差が出るということも想定されますので、小学校費、中学校費と分けるよりは柔軟に対応できるかなということでこのような計上にしたものでございます。

以上です。

○委員長（奥山勝吉） ほかにございませぬか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（奥山勝吉） なければ質疑終結と認めます。

○議第56号の説明、質疑

○委員長（奥山勝吉） 次に移ります。

議第56号 令和2年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

初めに、補正予算の概要について説明を求めます。渡部病院事務局長。

○病院事務局長（渡部町子） 病院事業会計の補正予算の概要についてご説明申し上げます。

概要書の6ページ下段をご覧ください。

主な内容といたしましては、一般会計における事業継続確保施設整備事業に供するため、旧医師住宅用地等固定資産を売却するものでございます。

売却代金850万円のうち、取得価格である帳簿価格については資本的収入の土地売却収入に、差額につきまして、収益的収入の特別利益固定資産売却益として収益計上したものでございます。

以上でございます。

○委員長（奥山勝吉） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（奥山勝吉） なければ質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

○議第55号・議第56号の採決

○委員長（奥山勝吉） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第55号 令和2年度白鷹町一般会計補正予算（第3号）について採決いたします。

議第55号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（奥山勝吉） 全員起立。ご着席ください。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第56号 令和2年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第56号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（奥山勝吉） 全員起立。ご着席ください。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（奥山勝吉） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算2件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異

議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（奥山勝吉） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決
しました。

○閉会の宣告

○委員長（奥山勝吉） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後 3 時 2 4 分〉